



田中 紘義



坂井 建太



浦辻 悠生



守谷 信

UNIBOY2016 開催 江戸川大学「Fox=Fox」出演 燃える! 青春

黄色い歓声が響き渡る。客席には出演者の友人、ユニドルとして活動している女子大生の姿も。第二回目の大会とは思えないほどの盛況だ。

江戸川大学から出場したのは「Fox=Fox」。SMAPのSHAKEなど全6曲を披露した。

4人組ユニットのメンバーは、みなメディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科3年生だ。キャッチコピーは「マスコミ業界を目指す、狐十字軍」。今年の2月に結成したとほ感じられない彼らの完成度の高いパフォーマンスに、会場はボルテージを上げた。

「Fox=Fox」の注目曲は4曲中「BABYMETAL」の「ギツネ」。

「不安や緊張が渦巻いている。イントロダクションが始まると、青と白を基調としていたステージが一転、赤と黒の照明のコントラストがより激しく妖艶なステージへと染め上げる。3人のメンバーが「メギツネ」のときなげ狐のお面を付け、まさに「狐と化す。しなやかに踊る3人の狐と、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

この他に「冗談じゃないね(まねきケチャ)」「Nerve (Bis)」「YOZORA (アイドルカレッジ)」「SHAKESMAP」「やよならの前に(AAK)」の計6曲を10分間にわたって熱演した。

「狐と化す。しなやかに踊る3人の狐と、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。この他に「冗談じゃないね(まねきケチャ)」「Nerve (Bis)」「YOZORA (アイドルカレッジ)」「SHAKESMAP」「やよならの前に(AAK)」の計6曲を10分間にわたって熱演した。

「不安や緊張が渦巻いている。イントロダクションが始まると、青と白を基調としていたステージが一転、赤と黒の照明のコントラストがより激しく妖艶なステージへと染め上げる。3人のメンバーが「メギツネ」のときなげ狐のお面を付け、まさに「狐と化す。しなやかに踊る3人の狐と、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

「不安や緊張が渦巻いている。イントロダクションが始まると、青と白を基調としていたステージが一転、赤と黒の照明のコントラストがより激しく妖艶なステージへと染め上げる。3人のメンバーが「メギツネ」のときなげ狐のお面を付け、まさに「狐と化す。しなやかに踊る3人の狐と、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

「不安や緊張が渦巻いている。イントロダクションが始まると、青と白を基調としていたステージが一転、赤と黒の照明のコントラストがより激しく妖艶なステージへと染め上げる。3人のメンバーが「メギツネ」のときなげ狐のお面を付け、まさに「狐と化す。しなやかに踊る3人の狐と、幣束を振る一人の巫による勢いとキレのあるパフォーマンスに声援が一気に大きくなった。

UNIBOY 成功の秘密? 実行委員に聞いてみた。 UNIBOY 実行委員長を務める立教大学2年の田村彩貴さんは、「一人の男子大学生の『UNIDOLの男子版をやりたい!』という一言からUNIBOYは始まりました。6チーム集まらなければイベントはできないという厳しい条件のもとチーム集めを行いました。途中、辞退の申し出などもあり、開催の危機に何度も直面しました。でも、最後には、全チーム全員がそろってステージに立つことができました」という。 また、「UNIBOYたちはとにかく素直で礼儀正しくて、人がよいです。出演者同士の仲のよさが目立ちます。コンテスト形式にも関わらず、ステージを終えたばかりの他チームのパフォーマンスを褒めたり」と成功の理由を話してくれた。「UNIBOYの今後は未定ですが第2回、第3回と開催し大会を大きくしていきたいです」。